

6. 環境教育と情報公開

理想科学は、積極的に環境教育を実施することで社員の見識を深めるとともに、環境活動の状況を広く公開することで社会と連携した環境負荷低減をめざしています。

環境教育

当社は、環境意識の向上と環境保全活動の実践につなげることを目的に、環境関連法規や内部環境監査などに関わる環境教育を実施しています。

また、環境方針や部門の取り組み状況を、事業所や部署内で社員が目にする機会が多い共通掲示板に掲示するとともに、全社で共有すべきデータや環境目的・目標の進捗状況などは、社内イントラネットを利用して周知を図っています。

2008年度は、新入社員、中途採用社員、未受講者の330名を対象に、E-ラーニング形式の一般環境教育を実施しました。

環境関連教育実施内容(2008年度)

研修(教育)の種類	回数(回)	延べ人数(人)	延べ時間(人・時間)
一般環境教育(E-ラーニング)	1	330	247.5
一般環境教育	11	35	22.5
内部監査員教育	6	134	578.6
EMS活動(ゴミの分別・・・等)教育	12	208	257.3
事故・緊急時訓練	13	116	99
防災訓練	5	834	831.8
法的資格講習	1	1	0
業務関連技能講習	12	58	32
業務レベルアップ教育・研修	6	221	744
安全・衛生向上教育	2	36	22.3
総計	69	1,973	2,835

※研修・教育のうち、環境に関わるものを抽出し集計しています。

環境報告書の発行

当社は、2004年8月に「環境報告書2004」を発行して以降、当社の環境への取り組み、社会的な取り組みをご紹介する報告書を年次で発行しています。報告書にはアンケート用紙を同封し、読者の皆様からのご意見・ご要望を次年度版の報告書の作成に活かしています。



「環境経営報告書2008」

2008年7月に発行した「環境経営報告書2008」に対しては、読者の皆様から12通のアンケート回答をいただき、本報告書作成に反映しました。

アンケートでいただいたご意見・改善内容

●回答状況

「環境経営報告書2008」に対するアンケートで、「わかりやすさ」についての回答は以下の通りでした。

とてもわかりやすい: 4名

わかりやすい: 6名

わかりにくい: 1名

とてもわかりにくい: 1名

●ご意見

「やや全体が堅い感じがする。もっと平易にわかりやすく、を心がけてほしい」

「製品がどういった使われ方をしているのか知りたい」

などのご意見をお寄せいただきました。

●対応

本報告書作成にあたっては、いただいたご意見を参考に、特集ページで新製品の環境配慮ポイント、使用済み製品の回収・リサイクルをビジュアルでわかりやすく記載しました。事業紹介のページでは、イラストを使って事業概要を説明し、当社製品の使用シーンや市場シェアを図示しました。

さらにページ構成を見直し、環境方針(理想環境憲章・行動指針)の項目に対応した説明・実績報告として編集し、詳細データは後半のデータ編にまとめました。

Webサイトのご紹介

当社のWebサイト上で、「環境への取り組み」を紹介しています。グリーン購入法適合製品など各種環境情報を掲載しているほか、報告書のPDFをダウンロードしていただけます。

また、2008年5月には英語版もリニューアルしました。



日本語版 <http://www.riso.co.jp/eco/>

英語版 <http://www.riso.co.jp/english/eco/>



環境イベントへの参加

当社は、環境への取り組みを広く社会にお伝えするために、積極的に環境イベントに参加・出展しています。

2008年度は、「エコプロダクツ2008」「びわ湖環境ビジネスメッセ2008」に加え「エコプロダクツ東北2008」「環境マンガ展」へ出展し、当社の環境配慮製品、環境への取り組みをご紹介します。

「エコプロダクツ2008」

エコプロダクツ展は、1999年にスタートした日本で最大級の環境総合展です。当社は本展示会に第1回から毎回参加しています。

2008年は、12月11～13日の3日間、「もうできる! CO₂-50%エコライフ」をテーマに開催され、さまざまな分野から企業、NPO、大学、行政機関など750を超える組織・団体が出展しました。

当社は、オルフィスHC5500のオンデマンド印刷による「時間の節約」「紙の節約」「在庫の削減」の3つのエコについて、パネル展示と印刷実演で紹介しました。

「びわ湖環境ビジネスメッセ2008」

「びわ湖環境ビジネスメッセ」は、今年で11回を迎える環境産業総合見本市です。2008年度は、「ここから生まれる『環境ビジネス』の新しいカタチ」をテーマに、11月5～7日の3日間開催されました。

当社は小林事務機株式会社と共同で出展し、リソグラフの環境配慮とオルフィスによるオンデマンド印刷を紹介しました。

「エコプロダクツ東北2008」

「エコプロダクツ東北2008」は、東北最大の環境展示会です。

2008年は、10月9～11日に開催され、当社は、オルフィスのオンデマンド印刷や、リソグラフRE33Zの使用済み製品の回収システム、大豆油を使用したインク製品などについて紹介しました。

「環境マンガ展」

「環境マンガ展」は「地球環境を守る漫画家の会」が主催する、環境をテーマにしたマンガ作品の展示会で、2008年5月13～25日に開催されました。

当社はこの展示会の開催に協賛するとともに、環境への取り組みをイラストにして展示紹介しました。

環境ラベルに関する情報開示

当社は、製品における環境配慮がますます求められていることを踏まえ、製品の環境ラベルの取得ならびに情報開示を積極的に進めています。

日本国内の製品についてはグリーン購入法 **解説1**、エコマーク **解説2**、国際エネルギースタープログラム **解説3** に適合した製品を提供しています。当社製品の環境ラベルに関する情報は、当社のWebサイトのほか、省エネルギーセンター、グリーン購入法特定調達物品情報提供システム、(財)日本環境協会エコマーク事務局、エコ商品ネット、グリーンステーションなどのWebサイトおよびエコマーク商品カタログなどに掲載されています。

海外の製品についても、国際エネルギースタープログラムや台湾グリーンマーク **解説4**、中国環境ラベル(II型) **解説5** に対応しています。海外における環境ラベル取得についての情報は、現地子会社のWebサイトのほか、海外の環境機関のWebサイトに掲載されています。

 環境ラベル等適合品のご紹介
<http://www.riso.co.jp/eco/label/>



国際エネルギースタープログラム



エコマーク



台湾グリーンマーク



中国環境ラベル(II型)

解説1 グリーン購入法適合製品

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)の特定調達品目およびその判断基準に適合する商品です。

環境物品等の調達の推進に関する基本方針の各特定調達品目およびその判断の基準等は毎年見直しが行われています。

解説2 エコマーク商品

「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品として(財)日本環境協会が認定した商品です。

解説3 国際エネルギースタープログラム

世界7カ国・地域で実施されているオフィス機器の国際的省エネルギー制度です。製品の稼働、スリープ、オフ時の消費電力などについて、省エネ性能の優れた上位25%の製品が適合となるように基準が設定され、この基準を満たす製品に「国際エネルギースターロゴ」の表示が認められています。(ECCJのWebサイトより)

解説4 台湾グリーンマーク

「台湾グリーンマーク」は、日本のエコマークに相当するもので、1992年に行政院環境保護署(環境省)から委託された環境開発基金(EDF: Environment and Development Foundation)の運営によりスタートした、タイプ1(第三者機関による認定)環境ラベルです。認定を受けるには、低消費電力設計、プラスチック部品への含有化学物質の規制、リサイクルの容易化設計、梱包材の再生材利用などが求められます。

解説5 中国環境ラベル(II型)

中国環境ラベルは1994年から、国家環境保護部により運営されています。中国環境ラベル(II型)は、中国環境ラベルの一つで、企業が主張する自己環境声明に基づいて審査が行われ、その声明がISO 14021基準に合格していることが認められればラベル使用が認められます。